



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>

10

2010, October

第1877回例会

平成22年10月21日



地域を育み、大陸をつなぐ



会長報告

会長 鈴木 享

今日はガバナー公式訪問例会です。柴田ガバナーには、長期にわたっての2500地区66クラブの公式訪問、本当にお疲れ様でした。本日は公式訪問の千秋楽です。よろしくお願ひいたします。

2010-2011年度会長エレクト指名の時期となりました。過日の理事会において、指名委員会の検討を行い、理事会決定をみました。委員長・堀 修司会員、副委員長・岡田武稔会員、委員・茨木雅敏会員、越智孝佳会員、深澤知博会員、それに私、鈴木。そして、オブザーバー・三野宮 功会長エレクト、古田敦則幹事、奥 敏則副幹事です。

さて、ロータリークラブは、既にご存じのように、1905年、ポール・ハリスがシカゴロータリークラブを創設したことに始まります。当時のシカゴは「無法と腐敗の街」と言われ、ギャングが横行する時代だったようです。そんな中で「友情、職業奉仕、社会奉仕」の考えでロータリーを創設したポール・ハリスは、改めて本当にすごい人なんだ、と思います。全く逆の面で凄いのが、ご存じアル・カポネです。ロータリーが広がりを見せていた1925年、カポネは26歳にしてマフィアのボスになっています。ロータリー活動に脂がのっているポール・ハリスとボスになったアル・カポネは、同じ時代に、同じシカゴの街で全く違う道を歩んでいたということです。アル・カポネと言えば、やはり禁酒法です。1919年に禁酒法ができましたが、どうしてできたかと言うと、1. 建前は、アルコールに強い批判をもつピューリタンの影響という宗教的理由。2. 実際は、男性が不健全な酒場に入り浸り、家庭生活をかえりみないという女性の批判が大きくなり、実際は、女性を中心とする禁酒運動があった。この法律は、あれも駄目、これも駄目という完璧な法律だったが、ひとつだけ酒に酔うことを禁止しなかった。つまり、飲むことは禁止ではなかった。さらに、医療目的ならば薬局で手に入れられるということで、お医者さんは、1枚2ドルで処方箋を書いたようです。医療目的ってなんでしょう。一方、禁酒法の執行官の待遇が悪かったため、アル・カポネをはじめギャングは、当然、執行官を買収して、密造、密売などに目こぼしをさせるわけです。さらに、密造酒ですから健康に悪い、密売にまつわるギャングやマフィア同士の抗争で治安が悪化する、以前よりもっと不健全な非合法酒場が横行するなど問題が続出したわけです。さらに、政治家は、財政難の中、そんなに売れているのなら自由にして税金を取ろうとなる。そんな訳で禁酒法は13年10か月で廃止になりました。ロータリーを広めたポール・ハリス、闇でお酒を広めたアル・カポネ。正反対の二人が同じ時代、同じシカゴの街に生きていたということ、何か不思議な気持ちになります。

会 長	鈴木 享	広報委員長	高田 晃一
副 会 長	土肥 孝紀	広報副委員長	奥田 頼昌
副 会 長	齋藤 憲生	委員	柳沢 一元
幹 事	古田 敦則	委員	大須賀眞太郎
計 画	小甲 哲士	委員	谷脇 正人
S A A	若林 剛	委員	河西 智子

エコキャップの回収に協力して下さい

世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

たいまつ宣言

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

出席状況報告

月/日	10/7	10/14	10/21
例 会	1875回	1876回	1877回
会員総数	63名	63名	63名
出席計算に用いた会員数	61名	60名	62名
ホームクラブ出席	35名	38名	45名
メークアップ	25名	15名	11名
出席率	98.3%	88.3%	90.3%
月平均	92.3%		

今月の主な行事

- 10月 7日 結婚・誕生祝 ゲスト卓話
14日
21日 夜間例会 ガバナー公式訪問
28日 (昼間例会~21日と振替)



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

点鐘
開会宣言
国歌斉唱

ロータリーソング(奉仕の理想)

ゲスト紹介

鈴木 享会長
堂山啓太副SAA

鈴木 享会長

RI第2500地区ガバナー 柴田和明様
RI第2500地区第6分区ガバナー補佐 畠山誠一様
RI第2500地区地区幹事 茨木雅敏様
RI第2500地区事務局長 佐藤 聡様



(会食)

会長報告

鈴木 享会長

会務報告

古田敦則幹事

①帯広西RC10月28日(木)の例会は昼間例会となります。

②帯広東RC移動例会

日時 10月26日(火) 午後0時30分
場所 河合鉄工(株)

③帯広北RC、10月29日(金)の例会は休会

④帯広RC、11月3日(水)祝日のため休会

⑤帯広南RC、夜間例会(クラブフォーラム)

日時 11月15日(月) 午後6時30分
場所 北海道ホテル

⑥帯広東RC、夜間例会(クラブフォーラム)

日時 11月16日(火) 午後6時30分
場所 帯広ワシントンホテル

ニコニコ献金 親睦活動委員会 天野清一会員

鈴木 享会員 ニコニコ狂歌『ガバナーの公式訪問 迎えつつ ロータリーの心 考えみるとき』

RI第2500地区ガバナー 柴田和明様 御祝

出席報告

出席委員会 横田幸宏委員長

2009-2010年度
皆出席表彰

小室 陸雄会員 30年
鈴木 享会員 10年
本田美喜男会員 10年



プログラム

理事会

ガバナー公式訪問

RI第2500地区ガバナー

柴田和明様



改めまして皆さんお晩で御座います。今日は最終公式訪問という形の中で、先ほど会長幹事会そしてまた、クラブ協議会連続して無事終了させて頂きました。非常に安心しましたことは鈴木会長が素晴らしい表現を何時もクラブ活動計画書に濃縮して表現しております。66クラブのクラブ活動計画書をつぶさに見せて頂きましたが、素晴らしいと評価させて頂きました。外に委員会の方におきましてもそれぞれが西ロータリークラブの流れをしっかりと把握してされておりまして、今年度の計画を去れているということにつきましても一安心した所で御座います。

さてRIで御座いますが、皆さんもご存じのとおり、会長方針というものが鈴木会長が計画書に載せてありますとおり、職業奉仕というものを、中心に表現されております。RI会長が職業奉仕を重視し、社会奉仕そして国際奉仕どうあるべきかということを唱われております。

一つは大きかったのは、RIのテーマという会員の皆さんに対するテーマが多かったしかしこの度は会員ののみならず地域社会に対するテーマであるという事も表現されていとおりでないかと思えます。と同時に会員以外の皆さん方に対するロータリーの理解を得てほしいということを唱っております。一つの大きな目標を背負って2500地区ということにつきましてもどうあるべきかということを、私なりに検討をさせて頂きました。そして提案させて頂きましたテーマが2500地区は皆様のご存じのとおり70%以上のクラブがどちらかという小さい方のクラブに該当するのではないかと思います。そして過去におきましても、ご存じのとおり阿寒クラブと佐呂間クラブが20名近いようなクラブが消滅していつている。という現状を考えたときに、70%のクラブに対してどうあるべきかというのが私の課題で御座いました。各文区単位で考えることによって、これは解消されるだろうという一つの基本に基づきましてまず一つはどんな小さなクラブからでも人材が輩出することができると一つで御座いました。もう一つはどんな大きな事業もどんな小さなクラブにおいても実施できるということが一つ御座いました。もう一つ

はそれをまとめていくのが分区単位で考えていくことを提言させて頂きました。66クラブの例会その他を通じて私は提言させて頂きました。小さなクラブからすばらしいという意見を頂いておりますし、FAX・お手紙を頂き励まされたとすばらしい考え方だとお褒めを頂き参りました。先般道下パストガバナーにもお会いしたとき道下さんが「柴田君手紙来てるぞ」と教えてくれまして、何の手紙ですかと訪ねると柴田君の言っていることに感激しているぞというようなことを教えてくれました。それはやはり小さなクラブに対する思いやり、こういう事がかかっていたようです。

これを分区単位でお互い手を取りながらそして行くことによってどんな小さなクラブでも私はガバナー輩出もできますし、ガバナー補佐も輩出する事も行事については分区単位で推進委員を出してそして推進をしていけばどんな大きな大会であろうとできますよということをお願いして参りました。これについて100%のクラブが同感して頂いたと思っておりますし非常にすばらしいご意見を沢山いただいております。これからはやはり大きなクラブが小さなクラブに対して。思いやりをもってそして各文区単位で一つのクラブとして活動と同じように手を取り合って協力しあっていけばどんな小さなクラブにおいても大会もできますし。先般利尻の方へも行ってきましたけれども非常にすばらしい歓迎をして頂きまして、この問題も出ました。利尻は町長さん、議長さん副町長さんも出席してくれる所で御座いますし、もちろん本島の方も8名位の町長さんが出席してくれた地区も御座います、例会の話も角度を変えて言わなければならないなど言うことにぶつかりましてそこで申し上げたことは先ほどもクラブ協議会で一寸申しあげましたが、ロータリークラブが奉仕活動をする中で、一番大切な奉仕は何かといわれたら社会奉仕であります。自分たちが住んでる地域のニーズにあった奉仕活動が柱にならなければならない訳であります。それによって地域社会にロータリー活動というものを理解して頂く絶好のチャンスになっていくわけでありまして、それによってまた広報という意味が生きて来ます。広報というのは先ほども言いましたが雑誌新聞に出すだけでは広報とは言いません。やはりロータリーを通じて汗をかく広報というのは私は表現させて頂きました。地域に根付いた奉仕活動が一番大切なんだと、これをあげたのは一部地区によっては国際奉仕に走ってしましまして地域社会というものを少し薄れている地区がないわけではありません。どうか我々の

奉仕活動で一番大切なのはこの帯広市において、この帯広市にどういふ事を奉仕すると地域活動になるのかこれが我々に課せられている課題ではないかと思っております。それを忘れて国際奉仕に走ってはいけません。地域と国際奉仕の地域とに橋を架けるのが本年度の会長の大きな一つの目標でありますから、自分の地域を忘れてはならないということをご理解頂きたいと思っております。各クラブに回りましてどうしても自分のクラブと比較してしまう。先ほども佐藤事務局長が一言言ってくださいました。「ガバナー内のクラブは違うね」本当にすばらしいクラブで御座います。今一度自信を持ってこれからも活動に活躍して頂きたいと思っております。全体的にすばらしいクラブで御座います。

今後ともご指導頂きたいと思っておりますけれども、一人一人ロータリーの品格というものが問われている時期で増強の基礎となるものはクラブの魅力で御座います。そこに魅力があるか無いかで決まって参ります。魅力というものはなんですかという、やはりロータリアン一人一人の人格、品格になって参ります。我々はこの点を自問していかなければならない問題でもあります。大切にしていかなければならない問題であります。

特に地域社会のおきましてロータリーバッチを付けている人達の言動が少し問題になっております。そういう意味におきまして、地域社会の中でやはりロータリアンとしてどうあるべきかという人格形成というものが必要なかという事が問われている時である。現状において足元を見て我々は進んでいかなければ、ロータリーに入ってくる人たちも少なくなるという危険性もある。

もう一つは我々が活動していく中でやはり先ほども申したように地域社会に対する理解が大切。それには先ほど申し上げた汗をかく広報を考えるのが大切だと思います。皆さん方の周りにも会社を退職して地域社会に貢献したという方が沢山います。ここが大切なポイントではないかとおもいます。我々がすばらしい地域活動をしたら、自分も参加してみたい方が絶対いるはずで、そこから増強という問題も出てくる。それがロータリーのPR・広報になってくる。底辺にはそれがあつたということを忘れないで一度検証する必要がある。

66クラブを回ったという会長さんのお褒めの言葉がありましたけれども、この件につきましては又、時間があれば改めて情報を伝えていきたい、すばらしい情報を手にすることができました。一

部には遠い所まで同行して頂きましてクラブ協議会、例会と一緒に出席して一緒に勉強をした方々が20名近くいますが、とても勉強になったと確信しております。勉強してきたことをこれからのクラブ活動に反映させていって頂ければと願っております。今一度地域社会からロータリアンがどう見られているかが一番のポイントです。これから魅力あるクラブ作りに邁進して頂きたい。品位の形成一人一人のロータリアンとしての人格を作り上げていくことが周囲から求められていることでないかと思う。新しい人だけを頼ってはいけない。現在いる先輩それぞれの立場の中でロータリアンとしての人格を形成していくと言うことが求められていると思います。それによって魅力あるクラブとなる。このクラブは素晴らしい人材がそろっております。

音更さんも近頃素晴らしい人材を集めております。近い将来ガバナーでもだすのではないかと期待しております。一つ負けないで西クラブもそろえていかなければならない来年の6月まではロータリアンの後ろにガバナーの名前がついておりますから、公平にガバナー補佐の前で表現しなければならぬ立場にありますので、畠山さんこれからも補佐として宜しくご指導頂きたいと思っております。地区11クラブに対してご指導頂いたことに厚くお礼を申し上げます。

以上、今日の例会の言葉とさせて頂きたいと思っております。

RI第2500地区第6分区ガバナー補佐 畠山誠一様

私も皆様方にはガバナー補佐として、地区大会有り難うございました。…始め監事の皆さんお礼を申し上げます。地区大会の時には色々ありましたが、終わったことなので又次年度へ向けて頑張ってもらえればと思っております。



柴田ガバナーの補佐として、ついて回っております。何かあれば又サポートを6月まで対応させて頂きたいと思っております。ガバナーの中でお話がありましたが、ガバナーに同行された西クラブの皆さんが66クラブ回られて、すごい勉強になったんだろうなとそう思っております。私も今回ガバナーに同行させて頂く中では、三回目の例会からは少しメーカーキャップさせて頂き、乍ら2・3人の若いメンバーと10クラブ位周りたと思っております。今回は私自身も勉強になりましたし、協議会でガバナーのお話にあったとおりにSAの対応が一番イン

パクトがある、スタートの時の行動がインパクトがあるなど感じております。佐藤事務局長のお話にあった「うちのクラブはいいよね」という言葉通り私も思っております。最終なのですが、65番目が広尾ロータリークラブですが伸び悩んでいるが、とても暖かいクラブの印象です。

ガバナー補佐をさせて頂いてまだ4ヶ月足らずですが良い勉強をさせて頂いたと思っております。

今年度13名が財団の方にご協力頂いた、それもガバナーの公式訪問の前に対応頂いた。米山に関してはすでに3・4人に決定させて頂いてます。

此の後2月27日にはIMをやらせて頂きます。実行委員長を中心に「ロータリーとは」と原点に戻って話し合いをしようと思っております。ご満足のいく方向性になるかどうか分かりませんが、是非ご参加頂きたいと思っております。お願いを兼ねてお話を終わらせて頂きますが、まだ6ヶ月あります。いろんな角度から、特に2500地区のガバナー事務所にご協力を頂きたい。齋藤さんが国際大会の地区委員長、その話も又資料ができ次第各クラブへお願いをしていきたい。色々な形で又お世話になりますが、宜しくご指導願います。

地区大会お疲れ様でした。有り難うございました。

閉会宣言
点鐘

堂山啓太副SAA
鈴木 享会長

お知らせ

10月はRI指定の「職業奉仕・米山月間」です。

次週プログラム予定

10月28日(木) 米山記念奨学委員会
(昼間例会となりますのでご注意ください)